

施策：	02	人材育成と組織の整備	財務コード	01020102-02-00
基本事業：	02	適正な人事管理の推進	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標	業務を円滑に推進するために適材適所の配置が全庁的にされていると思う 職員の割合 現在の職務・職場が自分に適していると思う職員の割合		担当課	人事課
			担当係	人事担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
職員			<ul style="list-style-type: none"> ・共済組合に関する事 ・退職手当組合に関する事 ・公務災害に関する事 ・労働安全衛生に関する事 ・特定事業主行動計画に関する事 ・健康相談に関する事（ストレスチェックを含む） ・各種健康診断に関する事（次のとおり） ・歯科健診、総合健診、婦人がん検診、VDT健診 ・職員の各種競技大会に関する事（次のとおり） ・福岡県市役所対抗競技大会、筑紫地区官公庁対抗競技大会 ・職員駐車場に関する事 							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
勤労意欲を持って安心して働き、組織の活性化が図られています。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
各種健診の受診者数		人	1,242	1,178		1,263			1,280	
健康講座及び健康相談の参加者数		人	14	13		24			36	
5. コスト										
事業費		計	千円	7,757	7,615	8,992	9,769			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	3,541	7,615	6,276	6,030			
一般	千円	4,216	0	2,716	3,739					
正職員人工数		人工	0.7	0.7	0.7					
正職員人件費		千円	5,597	5,662	5,646					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	13,354	13,277	14,638	9,769				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	状況 各種健康診断の受診者数は横ばいで推移しているが、歯科健診は総合健診に比べると受診者数が少なく、VDT健診はさらに少ない。健康相談の利用者数は低調なまま推移している。									
どちらかといえばあがっている	原因 総合健診以外の健診については、関心が低くさや、職員が多忙であることから積極的な受診に結びついていないものと思われる。									
あがっていない（停滞・低下）	課題 健診や健康相談が、健康維持や病気の予防に効果的であることを啓発し、未受診者に対して受診勧奨を行う必要がある。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	行財政改革により各自治体で職員数が削減され、職員が多忙化したこと、また、余暇が多様化したことに伴い、各種競技大会が縮小される傾向が続いている。競技によっては各団体の部員数が減少したことで大会の開催自体が困難になっている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
地方公共団体は、地方公務員法の規定に基づき、厚生事業を計画、実施する義務を負っている。また、職員及び被扶養者の病気、負傷、出産、死亡又は災害に関して適切な給付を行うための共済事業を実施する義務を負っている。										